

## 第 6 回 外国人児童生徒教育フォーラム

■日時:平成 17 年 8 月 27 日(土) 午前 10 時～午後 5 時

■場所:東京学芸大学 N410 教室

■アクセス:

・JR 中央線武蔵小金井駅下車 北口バス乗り場より京王バス

「小平団地行」学芸大学正門前下車 徒歩 3 分

・JR 中央線国分寺駅下車 徒歩 15 分

■参加費:無料

### 外国人児童生徒の就学前教育を考える

外国人児童生徒教育は地域や学校における教育課題として社会的に注目されてきました。そして近年は、幼少期より日本に滞在する子どもたちや日本生まれの子どもたちが増加し、その教育の場は、就学前教育の幼稚園・保育園へと拡張しています。

子どもたちは幼児期の終わりごろまでには、話しことばの基礎を確立し、読み書きの世界へ踏み出し始めます。この時期までに豊かに言語生活を送っているかどうかは就学後の言語発達や学習に影響すると言われています。

外国人児童生徒の場合、家庭内は言語的にも文化的にも社会とは異なる環境だと考えられますが、そのことが幼児期の言語経験・生活経験にとってどのような意味をもつのでしょうか。

日本生まれ・幼少期来日の子どもたちが多数在籍する小中学校では、彼ら・彼女らのことば(日本語と母語)の発達と学力の伸長が大きな教育的課題になりつつあります。

現在、こうした子どもたちへの支援として、地域や学校において、書きことばの世界との出会いとなる「読み聞かせ」活動の展開が見られるようになっていきます。

本フォーラムでは、今回、外国人児童生徒の就学前教育をテーマとしました。

「就学前」の段階で文化的社会的な諸要因によって日本語と母語の両言語において十分なコミュニケーション経験をしていない場合、その後の認知的・言語的な発達にどのような影響があるのでしょうか。また、その後どのようにリテラシーの力を高めていくことが出来るのでしょうか。この問題について、皆さんと議論したいと思います。

午前中にはこの問題の理論的側面について講演をいただき、午後、教育現場からの実態や実践の報告を中心にしたパネルディスカッションを行います。

講演では、発達心理学の専門家より、子ども達がどのように他者との関係を築き、生活世界を広げながらことばを発達させていくのかについてお話いただきます。

パネルディスカッションでは、パネリストより外国の子どもが多く在籍する保育園の現状と、外国人児童生徒への読み聞かせや読み書きの学習支援活動についてご報告いただきます。

そして最後に、報告いただいた内容を基に外国人の子どもたちが社会との関わり方やリテラシーを身につけていく上で就学前教育がどのような役割を担っているのかという点について議論します。

### プログラム

【1】 10:00～10:30

開会

【2】 10:40～12:00 第一部 講演 塘 利枝子氏(同志社女子大学)  
講演 1 時間、質疑応答 20 分

昼食・休憩(1 時間)

【3】  
13:30～16:45 第二部 パネルディスカッション「外国人児童生徒への読み聞かせ活動を巡って」  
パネリスト 田口 努 氏 (YMCA いずみ保育園)  
関口 明子 氏 (AJALT 国際日本語普及協会)  
熊田 路代 氏 (横浜市立富士見中学校))

話題提供 30 分(20 分の報告と簡単な質疑応答)×3 名  
パネルディスカッション 1 時間 全体討議 45 分

【4】16:30～17:00 閉会

## 第 26 回 海外子女教育セミナー

- 主催 東京学芸大学国際教育センター
- 日程 11月26日(土) 13:00～16:30
- 会場 東京学芸大学小金井キャンパス 国際教育センター(合同棟)1F 大教室  
JR中央線武蔵小金井駅北口より 京王バス「中大循環」にて「学芸大東門」下車、徒歩5分
- 参加費 無料
- 対象 日本人学校、補習授業校への派遣に関心のある教員とその家族の方はもちろん、海外子女教育に関心をおもちの方ならどなたでも参加できます。

### ■お問い合わせ

東京学芸大学国際教育センター事務室 電話 042-329-7721  
セミナーの詳細は国際教育センターホームページに順次掲載いたします。

### プログラム

- 【11月26日(土)】「海外に暮らす子どものことばと教育」
- 12:30 受付開始
  - 13:00 開会式
  - 13:30 基調講演「海外に暮らす子どものことばと教育」中島和子 (名古屋外国語大学教授)
  
  - 14:45 パネルトーク「子どものことばをめぐって」  
コーディネーター 杉田 洋 (東京学芸大学国際教育センター教授)  
パネリスト 中島和子 (名古屋外国語大学教授)  
高木光太郎 (東京学芸大学国際教育センター助教授)
  - 16:30 終了

【11月27日(日)】「海外で教えるということ」

10:00 講義1「海外子女教育の現状と教員派遣」 手塚義雅（文部科学省初等中等教育局国際教育課長）

11:00 講義2「これからの海外子女教育」 佐藤郡衛（東京学芸大学国際教育センター教授）

12:00 休憩

13:00 在外教育施設への派遣経験をもつ教員による実践報告会

司会 高木光太郎(東京学芸大学国際教育センター助教授)

報告者 服部雅彦（岐阜県岐阜市立藍川北中学校教頭・前マイアミ補習授業校校長）

日原万理子（兵庫県豊岡市立弘道小学校教諭・前モスクワ日本人学校教諭）

今井昌（広島県呉市立東畑中学校教諭・前台中日本人学校教諭）

ホン恵子(デトロイト補習授業校教頭)

14:40 休憩

15:00 質疑と討論

15:00 終了

## 第20回 在外教育施設教員国内研修会

東京学芸大学国際教育センターでは、海外の日本人学校や補習授業校で働く先生方、特に現地で採用された先生方を対象に、毎年研修会を行っています。この研修会では、講義や演習、学校訪問等を通して、在外教育施設における教育の一層の充実を図ることを目的としています。普段なかなか知り合うことのない他の学校の先生方との情報交換をしていただき、国内の教育の現状を見ていただく良い機会になると思いますので、ぜひご参加ください。

【11月28日[月]】

10:00-11:00 開講式(全員)

11:10-12:00 オリエンテーション(見世千賀子)

13:00-16:00 情報交換会(見世千賀子)

【11月29日[火]】

10:00-12:00 講義 1:これからの教育と教師のあり方  
(多田孝志 氏:目白大学経営学部教授)

13:30-16:00 講義 2:学習評価について  
(佐藤裕之 氏:川崎市総合教育センター指導主事)

【11月30日[水]】

10:00-15:00 私立啓明学園初等学校・中学校・高等学校訪問（昭島市）

理事長 平野吉三 氏

初等学校 校長 佐々信行 氏

中・高等学校 校長 蕪木豊 氏

## 【12月01日[木]】

- 10:00-12:00 講義 3: 年少者の日本語教育について  
(齋藤ひろみ 氏: 東京学芸大学国際教育センター助教授)
- 13:30-16:00 講義 4: カウンセリングについて  
(原裕視 氏: 目白大学人間社会学部教授)

## 【12月02日[金]】

- 9:30-11:00 講義 5: 国語教育について  
(寺井英子 氏: お茶の水女子大学附属中学校教諭)
- 14:00-17:00 海外子女教育振興財団表敬訪問  
専務理事 根道博 氏

## 【12月05日[月]】

- 8:30-17:00 公立小学校・中学校にて終日研修(小・中に分かれて訪問)  
川崎市立高津小学校 校長 山田兼充 氏  
川崎市立西中原中学校 校長 岡村修 氏

## 【12月06日[火]】

- 10:00-17:00 学芸大学附属大泉小学校・中学校訪問 (練馬区)  
(小・中に分かれて訪問)  
附属大泉小学校 校長 有吉正博 氏 副校長 千葉昇 氏  
附属大泉中学校 校長 角替晃 氏 副校長 成田喜一郎 氏

# 第2回 国際理解教育セミナー

「国際理解教育のおもしろさはどこにあるかー改めて国際理解教育の可能性を問うー」

第2回「国際理解教育セミナー」は、国際理解教育のおもしろさや魅力をどう発信し、伝えていくかをねらいにしたいと思っています。国際理解教育のもつおもしろさ、そこから得られる知的刺激、そして実践的な姿勢などをどのように発信できるかを、改めて考えてみたいというのが今年度のセミナーの趣旨です。

そこで、国際理解教育の理論と実践との架橋・融合に尽力されてきた3人の方から、「国際理解教育のおもしろさー国際理解教育の可能性ー」というテーマで発題いただき、その発題をめぐってパネルディスカッションをします。いままでこの領域で多くの発言をしてきた多田孝志氏(目白大学教授)、森茂岳雄氏(中央大学教授)、山西優二氏(早稲田大学教授)をお招きし、多様な立場から、国際理解教育のおもしろさと可能性を語っていただきます。ふるってご参加ください。

■日程 1月29日(日) 13:00~17:00

■場所 学術総合センター 会議室(東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号)  
アクセス→営団地下鉄半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8,9 出口、  
営団地下鉄東西線「竹橋」1b 出口 徒歩 3~5 分

>>[地図はこちら](#)(外部リンク)

■提案者

多田孝志氏(目白大学教授)

森茂岳雄氏(中央大学教授)

山西優二氏(早稲田大学教授)

■対象者

主に国際理解教育の研究者、実践者、教育関係者、学生約30名～50名程度。

■お問い合わせ

東京学芸大学国際教育センター事務室 電話 042-329-7721

シンポジウムの詳細は順次国際教育センターウェブページに掲載いたします。

プログラム

13時 開始

13:10～13:30 趣旨説明 佐藤郡衛(東京学芸大学教授)

13:30～14:05 提案1 多田孝志(目白大学教授)

14:05～14:40 提案2 森茂岳雄(中央大学教授)

14:40～15:15 提案3 山西優二(早稲田大学教授)

15:15～15:30 休憩

15:30～16:40 パネルディスカッション

■参加者風景